

CONTENTS

- 海外からの沖縄だより 2
第2回 香港事務所編
- 県政フラッシュ 4
- 特集1 6
平成18年4月開院 新しい医療拠点の形成を目指して
南部医療センター・こども医療センター
- 特集2 8
市町村合併により41市町村に
新しいまちづくりが始まっています
- 特集3 10
沖縄県福祉のまちづくり条例が変わります
- ハイサイうみと海のもとだち 12
「ハンナガウパウオ」
- うちな〜カこぶ 14
八重山商工高校野球部監督 伊志嶺吉盛さん
- 県のうごき1 16
沖縄に金融ビジネスの集積を
- 県のうごき2 17
平成18年4月1日
産業廃棄物税を導入します。
- 情報ひろば 18
おしらせ
- お届けします! わした便り 20
 - 渡嘉敷村「第18回渡嘉敷村トリムマラソン大会」
「第27回渡嘉敷村駅伝大会」
 - 八重瀬町 満開の緋寒桜が約500本!
鮮やかなピンクに染まる八重瀬岳
- 石獅子見聞録 21
南風原町本部・照屋

●表紙写真
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を
紹介します。
3月号表紙写真【竹富島】
カメラマン：北島清隆 <http://k-kitajima.net>

■ 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について ■

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、
県内各地域の情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えす
る冊子です。
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご
覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料
配布しています。

沖縄県広報協会(県広報課内) TEL:098-866-2020



香港の風景

香港は、中国本土の南東に位置し、本県の約半分の面積
(1,104km²)に約5倍の694万人が住む人口過密都市です。
1997年7月1日、英国からの中国返還に伴い中華人民共和
国香港特別行政区となつてからは、社会主義と資本主義が併存
する一国両制(一国二制度)が行われています。
香港を訪れる観光客は年間約2,300万人で、世界一流のブ
ランドショップが軒を連ねるショッピングセンターでの買い物や世
界各国の料理、本場の飲茶などが楽しめます。「100万ドルの夜
景」で有名な観光名所ビクトリア・ピークからはビクトリアハー
バーを取り囲み香港島から九龍半島までを見渡すことができ
る壮大なパノラマが広がります。昨年9月には、香港ディズニ
ーランドも開園し、香港の新しい観光名所となっています。



観光名所ビクトリア・ピークから望む高層ビル群。手前が香港島、対岸には九龍半島を臨むことができます。



物産展では、もずくやゴーヤーなどの展示販売のほか、調理方法の紹介も行いました。



昨年開催した泡盛試飲商談会の様子 現地で活躍している県人会の皆さん

(財)沖縄県産業振興公社香港事務所
C/O JNTO
3704-05, 37/F, Dorset House, Taikoo Place, Quarry Bay, Hong Kong
TEL(852)2968-1006 FAX(852)2968-1003
E-mail okinawa@hk.ntt.net 所長 志村正人

一九九五年一月に開設した香港事務所
は、香港をはじめ、深圳などの華南地域や
シンガポールなどをエリアとして、県産品
の販路拡大や観光誘客を柱に活動してい
ます。
これまで、香港で沖縄の認知度を高める
ため、香港マスメディア関係者を沖縄に招
いての情報発信、国際観光展への参加、沖
縄物産展の開催などを継続して行ってきた
結果、その効果もあつてか、昨年、日本経済
新聞社が東アジアの主要都市で実施した
「日本の観光地意識調査」で、香港において
沖縄は、日本で訪れてみたい観光地の第四
位になっています。
県産品の販路拡大については、その二つに
香港の高級食材店シティ・スーパー(現在
四店舗営業)で展開している県産品の販売
があります。二〇〇三年から商品の陳列・
販売と併せて観光情報
をモニターから常時放
映する「沖縄コーナー」
が常設できたことを機
に、県産品が徐々に売れ
るようになりました。ま
た、昨年、沖縄県酒造組
合連合会および沖縄県
物産公社と協力して開



観光展では、エイサー・演舞や三線と中国の伝統楽器である二胡
のコラボレーション演奏などを企画し、沖縄の魅力を紹介しま
した。

催した泡盛試飲商談会や企業の営業活動
により、香港の百貨店等において泡盛
十五銘柄が販売されるなど、販路は広がり
つつあります。
ここ香港には約八十人の県系人が在住
し、活躍しています。県人会活動も盛んで、
観光展などの出展支援のほか県内の子ど
もたちのホームステイ受け入れなどの交
流活動も行われています。
現在、沖縄から香港への直行便は運休し
ていますが、沖縄と香港間における人的交
流や物流がさらに増えれば、運行が再開さ
れる日はそれほど遠くないと思います。

第二回 香港事務所編
海外からの沖縄だより

本県では海外との経済・文化交流を推進し産業振興を図るため、(財)沖縄県産業
振興公社を通じて上海、香港、福州、台北に四つの海外事務所を設置しているほか、北
米には委託駐在員を配置しています。先月の上海事務所につき続き、今月は香港事
務所からその土地の様子や取り組みについて紹介します。



中華人民共和国香港特別行政区旗